おかげさまで
100th
Since 1922

JIS K 5970 建物用床塗料 上塗り
認証番号 JP0508057
ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
鉛・クロムフリー

JQA-2631（本社工場）
JQA-EM3548（本社工場）

溶剤系2液型エポキシ樹脂塗料

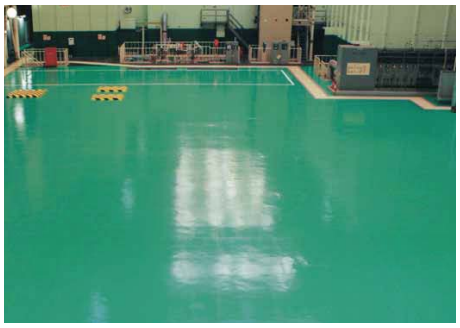
ボウジンテックス
#2700DG

■帯電防止
■耐久性

ミズタニ

静電気対策、帯電防止塗料

静電気の安全管理は、静電気の帯電を防止することから始まります。静電気は、工場・事業所の多くの箇所で発生・帯電しています。通常は、ほとんど問題になることはありませんが、条件が揃うと事故・災害に発展することがあります。静電気の帯電防止は、突発的な静電気障害・災害の発生を防止し、被害を局限化するため重要な役割を果たすものです。



特長・用途

特長

F☆☆☆☆ ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

1. 塗り床から静電気を漏洩し帯電を防止する
2. 安定した抵抗値を有している
3. エポキシ樹脂の特性である優れた耐久性、耐薬品性、耐摩耗性を有している

用途

1. 静電気をきらう工場、倉庫(粉体、火薬、電子部品組立等)
2. コンピュータルーム、クリーンルーム

静電気をきらう
工場および作業場

静電気をきらう
サーバ室・クリーンルーム

性能・荷姿

性能			
試験項目	試験方法	結果	試験後抵抗値
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。ガラス板に塗付200μm, 60度	70以上	
引っかき硬度(鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。すり傷	H	
耐摩耗性(mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。摩耗輪CS-17荷重500g×2g, 1000回転	60±5	
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。水道水に1ヶ月間浸せき	異常なし	変化なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし	変化なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。硫酸5%水溶液に48時間浸せき	変色	∞
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。50℃温水に48時間浸せき	異常なし	変化なし
ホルムアルデヒド放散量	JIS K 5970　デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆	
表面抵抗値	N.F.P.A法	$1\times10^5\Omega$～$1\times10^8\Omega$	
漏洩抵抗値	静電気安全指針に準ずる。	$1\times10^5\Omega$～$1\times10^8\Omega$	
人体帯電電位	ストロール法	10±5V	

※抵抗値は印加電圧500Vにて測定した結果

荷姿

■上塗り材

ボウジンテックス #2700DG	15kgセット (主剤 12kg／硬化剤 3kg) 硬化剤はS(夏型)、W(冬型)があります

■中塗り材

ボウジンテックス #2700D黒	14kgセット (主剤 10.5kg／硬化剤 3.5kg)

■下塗り材

ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ	14kgセット (主剤 10.5kg／硬化剤 3.5kg)

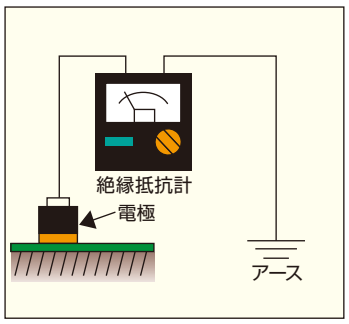
■希釈剤

ボウジンテックス #2700シンナー	16L・4L (#2700DG・#2700D黒用)

測 定 方 法

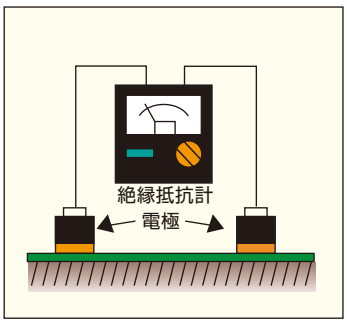
漏洩抵抗値の測定方法

漏洩抵抗値は塗床と接地間の抵抗値を測定します。



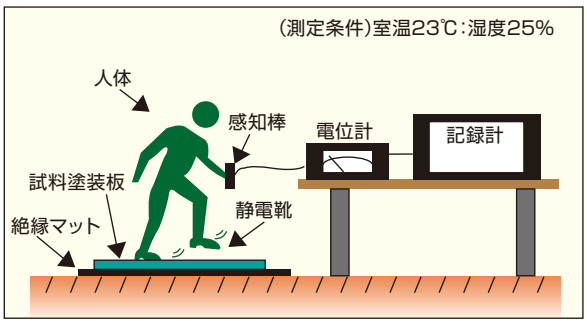
表面抵抗値の測定方法

N.F.P.A(米国防災協会)の定める方法に基づいた床材の測定方法。



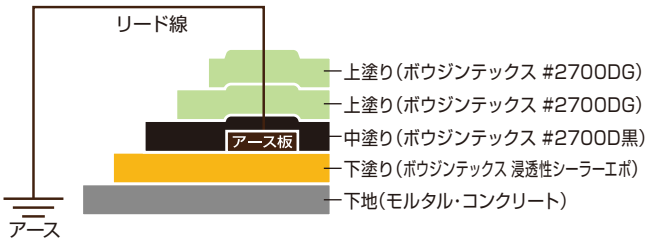
人体帯電電位の測定方法(ストロール法)

静電靴を着用して足踏み歩行(約100歩／分)したときの床面との摩擦により発生する人体帯電電位を測定します。

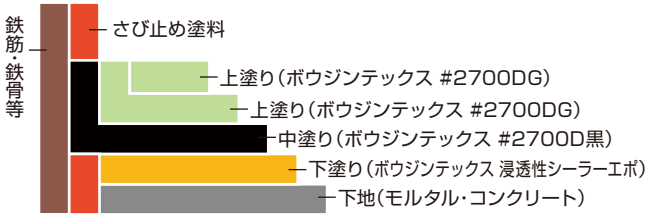


塗 装 工 程

アース板を埋設する場合



鉄筋・鉄骨をアースに用いる場合



※アース板はなるべく歩行の障害にならない部屋の隅や壁際に埋設してください。
※アースとして鉄筋・鉄骨等を利用する場合は、あらかじめ#2700D黒と接続する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、#2700D黒を接触するように塗装してください。
※アース板および鉄筋・鉄骨を利用するアースの有効範囲は半径15m以内です。
※アース板のリード線を建物のアース部に接続する際は、事前に関係者と打ち合わせをしてください。
※人体に帯電した静電気を除去するためには、静電防止靴などの着用が必要です。(通常の安全靴などは静電防止機能がないものがありますのでご注意ください。)
※導電ワックスのご使用は、お客様のご判断にてお願いいたします。

塗 装 仕 様

■標準工法

工　程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/㎡/回)	塗面積(㎡/缶セット)	可使時間(23℃)	塗装間隔(23℃) 工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。 既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下　塗　り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤 10.5kg　硬化剤 3.5kg	——	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~117	1h以内	——	4h以上 48h以内	——
ア　ー　ス	アース板を使用する場合は、下塗り上のなるべく歩行の妨げにならない場所にエポキシパテ等で貼り付けてください。 鉄筋・鉄骨等をアースとして利用する場合は、あらかじめ#2700D黒と接触する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、#2700D黒を接触するように塗装してください。									
中　塗　り	ボウジンテックス #2700D黒 主剤 10.5kg　硬化剤 3.5kg	0~3% (#2700シンナー)	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~117	1h以内	——	6h以上 48h以内	——
上　塗　り	ボウジンテックス #2700DG 主剤 12kg　硬化剤 3kg	15~20% (#2700シンナー)	ハケ ローラー	2	0.14~0.18	42~54	3h以内	8h以上 48h以内	——	16h以上 完全硬化 3日以上

※塗付量にシンナーは含まれておりません。塗付量は条件により増減します。
※下塗りのすい込みがはげしい場合は2回塗りをしてください。

注 意 事 項

仕 様 全 般

1. 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
2. 下塗りの塗付量が規定塗付量以下の場合は剥離の可能性があります。
3. アース板を施工する場合は、なるべく歩行の妨げにならない場所に施工してください。
4. アースとして鉄筋・鉄骨等を利用する場合は、あらかじめD黒と接触する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、中塗りのD黒を接触するように塗装してください。(アースの有効半径は15m以内なので、有効範囲外になるエリアがある場合は、その付近にアース板を施工して補うようにしてください。)
5. ボウジンテックス#2700DG硬化剤はSとWがありますので、気温20℃前後を目安に、季節にあった硬化剤をご使用ください。
6. 上塗りの塗付量は通電性に大きな影響を与えますのでご注意ください。上塗りを規定塗付量以上に塗装した場合や3回以上塗装した場合は、抵抗値が1×10^{8}Ωより大きくなることがあります。また上塗りを規定塗付量以下で塗装した場合や1回しか塗装しなかった場合は、抵抗値が1×10^{5}Ωより小さくなることがあります。
7. 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
8. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
9. 換気が不充分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
10. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
11. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
12. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. 使用前には充分撹拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分にご注意ください。
3. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分撹拌してください。
4. 2液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
5. 小分けする場合は、充分撹拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
6. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
7. 2液型塗料の主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
8. 材料の保管、取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

標 準 色 対 応 表

※全色受注生産となります。

色　目		
No.1	オレンジブラウン	○
No.6	オレンジ	×
No.9	ライトグリーン	○
No.10	グリーン	×
No.16	ライトベージュ	×
No.17	ベージュ	○
No.19	ライトグレー	○
No.20	ブラウン	×
No.21	フレッシュグリーン	○
No.22	ハーモニーグリーン	○
No.23	オリーブ	○
No.24	アクアグレー	○
No.25	ブルーグレー	○
No.26	サンドベージュ	○
No.27	モカブラウン	○
No.28	ゴールドブラウン	○
No.29	ニューブラウン	×
No.30	フィーバーグリーン	○
No.32	グレー	○

●使用している導電材の性質上、他ボウジンテックスシリーズとは色味が多少異なります。
●使用している導電材の性質上、調色できない色もありますのでお問い合わせください。
●本製品は受注生産対応となります。同じ色であっても色味が多少異なる場合がありますので、1物件は同一ロットをご使用ください。

※常備在庫していない場合がありますので、注文時には在庫の確認をお願いいたします。

LINE公式
アカウント開設！
ID：@521kgmun

水谷HPは
こちら↓

MIZTANI
水谷ペイント株式会社

本　社	〒532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3151 FAX(06)6393-1101
大阪支店	〒532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
西日本開発部	〒532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
東京支店	〒101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5　NS岩本町ビル	☎(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
東日本開発部	〒101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5　NS岩本町ビル	☎(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
北関東支店	〒348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎(048)563-0355 FAX(048)563-5124
中部支店	〒486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎(0568)85-3551 FAX(0568)85-3556
広島支店	〒734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎(082)284-6556 FAX(082)283-0017
福岡支店	〒811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎(092)611-5731 FAX(092)621-2301
仙台営業所	〒984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎(022)782-6770 FAX(022)232-6871
札幌営業所	〒007-0850	札幌市東区北50条東2丁目3-12	☎(011)702-5556 FAX(011)702-5557
工　場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2412030244672